



ぶんりだより



東京文理学院高等部

令和五年度 第二号

発行日 令和五年七月十四日

「成長の振り返りを」

学院長 小野塚 雅信

梅雨明け前の何日も続く雨を霖雨(りんう)と呼ぶ事がありますが、今年の梅雨は雨が降ったり止んだり、そして突然の猛暑日と、霖雨という言葉がなかなか当てはまりませんね。そのような天候とは逆に、文理学院では順調に学校生活が進み、予定通り明日から夏休みを迎えられる事を何よりも嬉しく思います。

さて、皆さんはこの三か月間で、出来るようになった事が増えましたか。検定試験に合格した、委員会や部活で活躍した等、目標を立てて努力をし、その結果が目に見える形となって表れた人は、自信を持って「出来る事が増えた!」と言えますね。では、目に見える結果が得られなかった人は、出来るようになった事がひとつも増えなかったのでしょうか。決してそうではありません。そもそも何かをやってみようという気持ちや考え方がなければ行動には移りません。ですので、物事に挑戦しようとする気持ちや考え方が新たに芽生えた時点でほぼ、出来るようになった事が増えたと言えるのです。例えば、今までは気にもしなかったが、電車の中でお年寄りに席を譲ろうと考えられるようになった。結果的には声をかける勇気が出ず、譲る事が出来なかったとしても、そう考えられるようになった事が成長です。出来るようになった事が増えたと立派に言えるのです。その気持ちがあれば近い未来に、声をかける勇気が湧き、行動に移せるようになるでしょう。

特別な事をしなくても、日々の学校生活では様々な刺激を受け、自然と挑戦したいという気持ちや発想が生まれるようになります。これが集団生活の大きな利点ですね。皆さんは確実に出来る事が増えています。形になった事だけを振り返るのではなく、どのような事に対して新たな気持ちや考え方が芽生えたのかを、この長期休みを使って振り返ってみてください。必ずいくつかあるはずですよ。

保護者の皆様、まだ三か月余りではございますが、皆様方の深いご理解とご協力のおかげで、新年度当初の計画通りに教育活動を進める事が叶っております。今後もお子様との成長に繋がるよう、様々な機会を設けてまいりますので、引き続き、温かいご支援ご協力の程、よろしくお願い致します。

八・九月行事予定

八月

一日～四日 夏期講習

※夏期講習は七月三十一日から

十七日～二十三日

三年 三者面談

十九日

三年 模擬試験(希望者)

二十九日

学年集会・避難訓練

九月

九日

公開授業日

十一日

公開授業日代休

十七日

体育祭

十九日

体育祭代休

二十二日・二十五日

前期試験

二十六日

試験休み

二十七日

試験返却日

二十八日

試験休み

二十九日

前期終業式

三十日

第二回英語検定(希望者)

九月二十二日～十月六日は

衣替え移行期間になります



沖縄臨海教室



三年生は、六月二十日から二十三日まで沖縄臨海教室に行きました。沖縄では、マリンスポーツを楽しむだけでなく、戦跡を巡り、改めて戦争の悲惨さを実感しました。友人たちと寝食を共にし、ひと回り成長できたことが生徒たちの作文から伝わってきます。

三年一組 村田 琳汰朗

六月二十日、待ちに待った臨海教室が始まりました。飛行機が無事に沖縄に着き、バスに揺られ向かった先は、美ら海水族館でした。水族館では、人気の魚や珍しい魚を沢山見て、お土産も買うことができました。大きな水槽で悠々と泳ぐジンベエザメも見ていて楽しかったです。それ以上に、深海の生物と分かりやすい解説が凄く記憶に残りました。今まで行ったことのある水族館の中で、一番良かったです。

二日目は、臨海教室のメインである平和学習を行いました。午前は、ひめゆりの塔で献花し、ひめゆり平和祈念資料館内で資料動画を鑑賞後、見学をしました。午後は、平和祈念堂での講

話後、献鶴を行い、平和祈念公園へ向かいました。平和の礎では、戦争で犠牲になった方々の名前を確認後、平和の広場で写真を撮りました。とても内容の濃い一日で、もう二度と戦争をしてはいけな

いと強く願いました。
三日目は、マリンスポーツでした。午後

後にスコールが発生し、中止となりましたが、午前中は晴れ、様々な経験をする

ことができました。ドラゴンボートには、先生も乗り、皆で楽しむことができました。また、シュノーケリングでは、綺麗な海の中で沢山の魚を見ました。

最終日は、おきなわワールドで、お土産購入と名物のスーパーエイサーを鑑賞しました。エイサーは、とても迫力のある踊りで魅了されました。
臨海教室を終え、沢山の思い出ができました。今回の経験を大切にし、残りの学校生活も前向きに励みます。

三年二組 西村 悠斗

私たちは三泊四日で、沖縄へ行きました。この四日間、私が特に印象に残っていることが二つあります。

一つ目は平和学習です。事前に沖縄について調べましたが、当時の人の暮らしや戦争の規模については正直、あまり実感が湧いてきませんでした。しかし、平和祈念資料館の展示を見たり、沖縄戦の話や戦を聞いたりとすることで、当時の人々の苦しさを強く感じるようになりました。私はこの経験から、戦争は二度と起こしてはいけないことだと思いました。

二つ目はマリンスポーツです。臨海教室の中で一番楽しみにしていた活動で、

前日の夜は興奮してしまい、なかなか寝られませんでした。ドラゴンボートは海の上を爽快に疾走出来、気持ち良かったです。シュノーケリングではサンゴ礁やイソギンチャク、隠れているカクレクマノミを見つけることが出来ました。
臨海教室では沖縄の自然や文化に触れることが出来、とても楽しかったです。一方で、過去の歴史についても学ぶことが出来、貴重な機会となりました。

三年三組 林 祥大朗

私たち三年年の最大の行事「沖縄臨海教室」は、とても多くのことを学び、体験できた素晴らしい行事となりました。特に、二日目の平和学習では、戦争の恐ろしさと、平和の尊さを改めて知ることができました。

ひめゆり資料館や平和祈念公園を巡り、手記などを目にして、大きな恐怖を感じました。講話では、実際に私がそこにいたかのように当時の人々の悲しみや苦痛を感じることができました。沖縄の地で起きた戦争について、決して忘れずにこれからも生きていきます。

また、この行事でクラスメイトや、他クラスの人も仲が深まったと思います。部屋での面白い出来事、マリンスポーツなど、皆と一緒に体験できたことが何より嬉しかったです。友人だけでなく、現地の方やバスガイドさん、ホテルの方など沢山の方々と関わり、助けていただき、この臨海教室は大成で終わっただと感じています。そしてこれから、この三泊四日で学んできたことを、学校生活にも生かしていけたらと思います。

三年四組 後藤 春ノ介

沖縄に行つて感じたこと、楽しかったことを、当時、しおりにまとめた沖縄の滞在記を参考に書きます。

初日の美ら海水族館では、沢山の魚が撮られただけでなく、ジンベイザメを間近で見られて嬉しかったです。バスの中では沖縄弁を学ぶことも出来、ホテルに着けば景色が凄く美しく、楽しい一日でした。

二日目は、ひめゆり平和祈念資料館と平和祈念公園に行きました。戦争の残酷さを知り、自分と同じ年代の人が多く亡くなった事実、とても胸が痛くなりました。

三日目は、沖縄の海を思う存分堪能しました。一番楽しかったのは、シュノーケリングと、ドラゴンボートです。シュノーケリングは体験する前は少し怖かったけれど、挑戦して良かったです。

そして、とうとう最終日になり、沖縄での宿泊研修は本当にあつという間だったと感じました。おきなわワールドでお土産を買い、エイサーショーを楽しみ、獅子舞も見られてとても楽しかったです。羽田空港に到着した後は、式田君、大谷君と自分の三人で仲良く京急線で帰りました。

また沖縄に行きたい、そして沖縄の料理、ソーキそば、紅芋のスイーツをもっと味わいたいと思いました。



「割れ窓が教えてくれるもの」

大河内 佐和

皆さんは「割れ窓理論」を知っていますか。これは、割れた窓をそのまま放置しておく、やがて他の窓もすべて壊されるといふものです。つまり、軽い違反や乱れを見逃していると住民のモラルが低下し、環境の悪化や犯罪の多発に繋がるといふ考え方です。

これは、個人についても同じことが言えるのではないのでしょうか。例えば、部屋が汚い、いつも約束の時間に遅れる、というような生活の小さな乱れから大きな乱れになっていくことはありませんか。

日頃、何か上手いかないなど感じていたら、目の前のことを片付ける、きれいにすることを心掛けることで、自分自身の頭の中も整理され、気持ちも落ち着いてくるものだと思います。

小さなことからしっかりとやっていくことが大事、事が大きくなってからでは手に負えなくなってしまう。私も毎日の生活を振り返ってみようと思います。

